

【管内の感染症の発生状況等について】

- 管内の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点当たり報告数は減少傾向で推移しており、第19週では0.40でした。また、管内のインフルエンザ定点当たり報告数は低い値で推移しており、第19週では0.10となっています。（管内の定点当たり報告数は別表グラフを併せてご覧ください。）
- 管内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第19週に5.00となり、減少傾向にありますがいまだ高い値で推移しております。県内では施設等における感染性胃腸炎の集団発生報告が続いており、注意が必要です。
- 伝染性紅斑の定点当たり報告数が過去5年間で比較的高い値で推移しています。全国的に増加傾向がみられ、県内でも4月24日付で流行警報が発令されており、今後も動向に注意が必要です。
- 主な感染症の定点当たり報告数

報告週	COVID-19		インフルエンザ		水痘		感染性胃腸炎		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		伝染性紅斑	
	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県
16週 (4/14～4/20)	1.00	2.84	0.50	1.46	1.50	0.34	11	9.24	0.75	5.34	2.75	2.58
17週 (4/21～4/27)	0.70	2.15	0.10	0.75	3.00	0.55	14.7	9.42	2.25	4.87	2.75	1.97
18週 (4/28～5/4)	0.70	1.19	0.10	0.37	0.50	0.37	6.25	6.84	1.00	5.50	1.00	2.05
19週 (5/5～5/11)	0.40	1.01	0.10	0.50	1.75	0.29	5.00	5.47	2.25	5.08	2.25	2.11

○ 全数把握感染症の発生届（管内）

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
16週 (4/14～4/20)				梅毒1件 百日咳4件
17週 (4/21～4/27)				百日咳6件
18週 (4/28～5/4)		腸管出血性大腸菌感染症1件		百日咳5件
19週 (5/5～5/11)			E型肝炎1件	百日咳4件

★茨城県感染症流行情報週報（2025年第19週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2025idwr19.pdf>

★茨城県感染症流行情報月報（2025年4月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2025mrp04.pdf>

★茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2025年3月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202503kensyutu.pdf>

★インフルエンザ流行情報（2024-2025シーズン）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2024-2025.html#gakkyuuheisa>

★茨城県感染症発生動向調査事業年報（2023年）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/2023nenpou.html>

【麻疹（はしか）について】

- 今年県内の麻疹患者の報告が20件あり、全国的にも過去の動向を大きく上回る発生が続いています。
麻疹は空気・飛沫・接触感染する、感染力が極めて強い感染症です。最も有効な予防方法はワクチン接種であり、2回の接種で約99%の方が抗体（免疫）をもつことができるとされています。母子手帳で麻疹ワクチン接種歴を確認し、必要に応じてワクチン接種を検討しましょう。
- 医療機関におかれましては、発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻疹予防接種歴や海外渡航歴の確認等、麻疹の発生を意識した診療を行っていただくとともに、麻疹が疑われる患者を把握した場合には、院内での感染対策に配慮しつつ保健所へご相談いただきますようお願いいたします。

★ 麻疹に注意しましょう（茨城県感染症情報センター）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/measles2.html>

★ MRワクチン（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/mr/index.html

★ 【事務連絡】麻疹及び風しんの定期の予防接種に係る対応について（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001440529.pdf>

【百日咳について】

- 県内では百日咳の発生が増加しており、特に中高生の間で感染拡大がみられております。
百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）によって起こる急性気道感染症です。乳児期早期から罹患する可能性があり、特に生後6カ月未満の乳児では重症化しやすく、まれに死に至ることもある疾患です。
予防には、ワクチン接種が有効です。また、手洗い、マスク着用、咳エチケットなどの基本的な感染対策も重要です。
- 百日咳の治療には、マクロライド系抗菌薬を第一選択薬として用いることが推奨されていますが、近年、マクロライド耐性百日咳菌の出現が問題視されており、本県においても、2024 年及び2025 年に各1 例、マクロライド耐性百日咳菌感染症例が確認されております。

★ 百日咳の報告数が増加しています（茨城県感染症情報センター）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/kikaku/hyakunitiseki.html>

★ 5種混合ワクチン（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/dpt-ipv-hib/index.html